

「第13回専攻科研究論文公開発表会」にあたって

平成8年4月、5年の本科に加えて2年の専攻科が本校に設置されてから13年が経過しました。その間、本科から専攻科への進学を希望する学生諸君は、年々、増え続け、本年度の修了予定者は35名となっております。専攻科の設置は、学生諸君に大学院に接続したパスを拓くと共に、「中堅技術者の育成」という当初の目標を、高度で幅広い実践的で創造性のある教育へと発展させました。この実績が評価され、平成20年12月、中央教育審議会は、「高等専門学校教育の充実に向けて」の答申において、「中堅技術者の養成」から「幅広い場で活躍する多様な実践的・創造的技術者の養成」という方向で「高専」をさらに充実させるべきと提言しています。

これに応え、地域・産業・社会のニーズに対応した教育研究の充実によって、専攻科の位置付けを明確にし、「高専」のプレゼンスを確保しなければなりません。産業構造の変化や技術の高度化など時代の進展に対応した高度で幅広い実践的で創造性のある教育を実施するためには、今や、地域産業界との連携が必須のように思われます。

「高専」における研究に地域産業界の皆様からご意見を頂くことでより有用な研究となり、その成果や考え方を教育に反映することが重要です。さらに、企業のシーズやニーズを「高専」に持ち込んで頂き、地域産業界の技術者と学生、教員が一体となって研究開発できれば、学生にとって良い実践教育となることでしょう。これにより、「幅広い場で活躍する多様な実践的・創造的技術者の養成」が達成できるものと思います。

本公開発表会では、専攻科修了予定者が本科ならびに専攻科での卒業研究および特別研究を通して行ってきた日頃の研究活動の成果を紹介いたします。是非、本発表会に地域産業界の皆様のご参加を賜り、「高専」を少しでもご理解頂くと共に、「高専」と地域産業界との連携がより密接になればと願っております。

平成22年1月吉日

北九州工業高等専門学校
校長 塚本 寛